

現場主義「しもの幸助」が取り組む重要4課題

1 防災・減災対策の推進

～県民の命を守り、安全で安心な暮らしの実現～

海岸堤防の脆弱箇所の補強対策および耐震対策（堤防の液状化対策）の着実な取り組みを推進するとともに「**三重県新地震・津波対策行動計画**」や「**避難所運営マニュアル**」等が着実に促進されるよう、現場レベルで取り組んでまいります。

2 県民の健康と生命を守る

～介護・認知症対策等、高齢者福祉・がん対策等の充実～

入所施設等の介護基盤の整備を進め、地域包括ケアの取り組みや認知症対策の実施により、高齢者や認知症の人が安心して暮らせる環境整備を推進します。また、健康対策を一層推進し、特に、死亡原因の第一位である“がん”については、「**三重県がん対策推進条例**」（平成26年）にもとづき、予防、早期発見、治療までの一連の取り組みとする総合的ながん対策を推進してまいります。

■三重県の人口推計と高齢化の推移



■三重県人口 182.8万人 (H25.12.1) ■鈴鹿市人口 20.1万人 (H25.12.30)

3 子どもたちの豊かな未来のために

～少子化対策、子育て対策、2021年みえ国体～

「子ども・思春期」、「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」などライフステージにあった政策（若者の経済的自立、不妊治療の充実、男性の育児参画など）を推進するとともに、社会全体で子どもたちを支えられる取り組みを全力で行います。また、スポーツ振興対策調査特別委員会にも所属するなど2018年の東海地区高校総体、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の国体・全国障害者スポーツ大会の三重県開催に向けて、選手の育成・強化、指導体制の充実など総合的な競技力の向上と施設整備を含めた着実な開催準備を推進してまいります。

4 中小企業・小規模企業の振興

～県内企業数の99.8%、雇用者数の86.5%を占める～

中小企業・小規模企業は、県内企業数の99.8%（60,342／60,433社）、雇用者数の86.5%（42.2／48.8万人）を占め、地域の雇用や経済、社会を支えている重要な存在です。そこで、私は「三重県中小企業・小規模企業振興条例」の制定を求め、所管する常任委員会の委員として議論を重ね、その実現に尽力しました。今後は、この条例や現場のご意見を基に政策の具現化（人材育成、県単融資など）必要な支援を推進してまいります。